

IV (家畜飼養狀況
家畜衛生防疫)

目 次

1	家畜飼養状況	(ページ)
	(1) 年次別家畜飼養戸数及び頭羽数の推移	1
	(2) 過去5ヵ年間に於ける家畜飼養状況の推移	2
	(3) 平成23年次行政区別家畜飼養頭羽数	3
	(4) 平成22年次京都市内農業産出額(畜産)	13
	(5) 地域別家畜飼養状況	13
2	家畜衛生防疫	
	(1) 平成23年度家畜衛生防疫及び畜産環境対策指導実績	14
	(2) 京都市内に於ける過去5ヵ年間の監視伝染病発生状況	15
	(3) 家畜法定伝染病の種類	16

内容についての御質問等は、京都市産業観光局農林振興室農業振興整備課 電話 075-222-3352 まで御連絡ください。

1. 家畜飼養状況

(1) 年次別家畜飼養戸数及び頭羽数の推移

種別 年次	乳牛	肉用牛 (役牛を含む)	馬	豚	山羊	めん羊	鶏	みつばち	飼料作物作付状況		
									水田	畑	牧草地
12	6戸 168頭	11戸 153頭	10戸 140頭	6戸 1,975頭	2戸 17頭	4戸 26頭	23戸 20,835羽	3戸 338群	-a	-a	-a
13	5 129	11 129	10 136	6 842	2 23	4 18	24 20,285	3 333	-	-	-
14	5 151	9 97	10 141	5 756	2 23	4 14	29 23,930	2 330	-	-	-
15	5 136	9 103	10 141	5 937	2 15	3 16	29 23,930	3 312	-	-	-
16	5 127	10 110	10 130	5 1,568	1 14	2 12	22 20,423	4 309	-	-	-
17	4 95	8 67	11 173	5 1,937	1 14	2 6	28 19,674	5 230	2,989	-	-
18	4 89	5 60	12 161	2 22	2 15	3 6	30 20,082	3 204	-	-	-
19	4 73	3 41	12 153	3 32	3 8	2 4	35 17,909	7 210	-	-	-
20	3 48	3 70	12 157	3 39	4 27	3 8	29 17,843	6 192	-	-	-
21	3 48	3 74	11 164	3 66	4 20	5 16	27 16,921	9 199	-	-	-
22	3 48	3 59	11 170	3 56	6 35	5 17	24 18,302	27 249	-	-	-
23	3 47	5 58	11 158	2 44	7 37	6 23	28 17,249	32 287	-	-	-

(2) 過去5ヵ年間に於ける家畜飼養状況の推移

(各年2月1日現在)

家畜飼養状況
(京都市 平成23年2月1日)

年次	種別	乳牛			豚			鶏		
		戸数	頭数	一戸平均	戸数	頭数	一戸平均	戸数	頭数	一戸平均
19	実数	4	73	18.3	3	32	10.7	35	17,909	511.7
	(指数)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)
20	実数	3	48	16.0	3	39	13.0	29	17,843	615.3
	(指数)	(75.0)	(65.8)	(87.7)	(100.0)	(121.9)	(121.9)	(82.9)	(99.6)	(120.2)
21	実数	3	48	16.0	3	66	22.0	27	16,921	626.7
	(指数)	(75.0)	(65.8)	(87.7)	(100.0)	(206.3)	(206.3)	(77.1)	(94.5)	(122.5)
22	実数	3	48	16.0	3	56	18.7	24	18,302	762.6
	(指数)	(75.0)	(65.8)	(87.7)	(100.0)	(175.0)	(175.0)	(68.6)	(102.2)	(149.0)
23	実数	3	47	15.7	2	44	22.0	28	17,249	616.0
	(指数)	(75.0)	(64.4)	(85.8)	(66.7)	(137.5)	(206.3)	(80.0)	(96.3)	(120.4)

(1) 乳用牛(酪農)
乳用牛飼養戸数は3戸で前年と変わっていない。飼養頭数は47頭で前年より1頭減少している。1戸あたりの平均飼養頭数も15.7頭で前年より0.3頭減少している。

(2) 豚(養豚)
豚の飼養戸数は2戸(すべて、検査・研究機関)で前年より1戸減少している。飼養頭数は44頭で前年より12頭減少し、1戸あたりの平均飼養頭数は22頭で前年より3.3頭増加している。

(3) 鶏(養鶏)
鶏の飼養戸数は28戸で前年より4戸増加している。飼養羽数は17,249羽で前年より1053羽減少し、1戸あたりの平均飼養羽数も616.0羽で前年より146.6羽減少している。

(3) 平成23年次行政区別家畜飼養頭羽数

(平成23年2月1日現在)

種別 行政区	乳牛	肉用牛 (役牛を含む)	馬	豚	鶏	みつばち	飼料作物作付状況		
							水田	畑	牧草地
北区	2戸 40頭	1戸 4頭	4戸 52頭	1戸 1頭	4戸 201羽	1戸 6群	—a	—a	—a
上京区	— —	— —	— —	— —	— —	1 3	—	—	—
左京区	— —	1 2	4 56	1 4	12 6,461	7 41	—	—	—
山科区	— —	— —	— —	— —	— —	5 13	—	—	—
下京区	— —	— —	— —	— —	— —	2 13	—	—	—
南区	— —	— —	— —	— —	1 5,700	1 3	—	—	—
右京区	1 7	2 47	1 29	— —	4 288	8 12	—	—	—
西京区	— —	— —	1 3	— —	3 1,458	2 3	—	—	—
伏見区	— —	1 5	1 18	1 40	4 3,141	5 193	—	—	—
京都市計	3 47	5 58	11 158	2 44	28 17,249	32 287	—	—	—
京都府	81 5,126	110 6,557	30 361	22 13,320	745 (注) 2,268,393	140 1,038	10,723.9	10,664.1	6,526.0
割合	3.7% 0.9%	4.5% 0.9%	36.7% 43.8%	9.1% 0.3%	3.8% 0.8%	22.9% 27.6%	0%	0%	0%

(注) 養鶏業以外の飼養者を含む。

飼養戸数及び飼養頭羽数

((1) の 1)

種別 行政区別	牛																																		
	乳用牛											肉用牛																							
	雌(ホルスタイン種)			雌(その他)			種雄牛		頭数計	肥育頭数	戸数	繁殖牛				子牛	肥育牛			頭数計	戸数				一貫経営の頭数内訳										
	成牛	育成牛	子牛	成牛	育成牛	子牛	成牛	育成牛				うち乳用種肥育戸数	成牛	育成牛	種雄牛		計	肉用牛			乳用種		計	繁殖	肥育				一貫	合計	繁殖	子牛	肥育		
									雌	去	雌					去		肉	乳	両	計														
北区	32	8						40		2								4			4	4				1				1					
左京区																	2			2	2						1				1				
右京区	7							7		1								1	3	10	33	47	47			1		1	2			2			
伏見区																					5			5					1	1			1		
計	39	8						47		3								5	3	10	35	53	58			2	1	2	5			5			

(注：乳用牛)

- 1 成牛とは、分娩したことのある牛（経産牛）。
- 2 育成牛とは、6ヶ月齢以上で分娩するまでの牛。
- 3 子牛とは、6ヶ月齢未満の牛。
- 4 種雄牛については、25ヶ月齢未満を育成牛とする。

(注：肉用牛)

- 1 成牛とは、16ヶ月齢以上の牛（ただし雌の肥育素牛は除く）。
- 2 育成牛とは、6ヶ月齢以上、16ヶ月齢未満の牛。
- 3 子牛とは、6ヶ月齢未満の牛。
- 4 雄の肥育牛は去勢に入れる。
- 5 肥育牛欄の去は去勢牛。
- 6 戸数欄の肉は和牛等の肉用牛、乳はホルスタイン種等の乳用種。

((1) の 3)

種別 行政区別	鶏																				
	種 鶏								採 卵 鶏								ブ ロ イ ラ ー			総羽数計	総戸数計
	卵 用 鶏			ブ ロ イ ラ ー			羽数計	戸数計	成 鶏	う ち 国 産 鶏	育 成	う ち 国 産 鶏	羽 数 計	う ち 国 産 鶏	戸 数	う ち 国 産 鶏	羽 数	戸 数	年 間 出 荷 羽 数		
	鶏 種	羽 数	戸 数	鶏 種	羽 数	戸 数														成 鶏	う ち 国 産 鶏
北 区									191	(191)			191	(191)	4	(4)	10	1	10	201	4
左京区									2,839	(2,839)	1,251	(1,251)	4,090	(4,090)	9	(9)	2,371	5	1,840	6,461	12
南 区									5,700	(5,700)			5,700	(5,700)	1	(1)				5,700	1
右京区									288	(288)			288	(288)	4	(4)				288	4
西京区	ゴ ー ル デ ー ッ ン	23	1	京 地 どり	135	1	158	1	900	(900)			900	(900)	2	(2)	400	1	3,000	1,458	3
伏見区									2,829	(2,829)	300	(300)	3,129	(3,129)	4	(4)	12	1	12	3,141	4
計		23	1		135	1	158	1	12,747	(12,747)	1,551	(1,551)	14,298	(14,298)	24	(24)	2,793	8	4,862	17,249	28

- (注) 1 種鶏には、鶏種（品種名又は銘柄）を記入。
 2 採卵鶏の成鶏とは、150日齢以上のにわとり。育成鶏は150日齢未満のにわとり。
 3 採卵鶏の欄に、国産鶏羽数、国産鶏飼養戸数を内数として（ ）内に記入。
 4 ブロイラーの羽数には、常時飼養羽数＝年間出荷羽数÷回転率
 5 同一飼養者が複数の種別のにわとりを飼養していることがあるため、種別戸数の和と戸数計及び総戸数計とは必ずしも一致しない。

((1) の 4)

種別 行政区別	めん羊					山羊					馬				ロバ		ポニー		みつばち		マガモ		アヒル・アイガモ	
	めす	おす	頭数計	品種	戸数	めす	おす	頭数計	品種	戸数	種馬	種馬以外	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	群数	戸数	羽数	戸数	羽数	戸数
北 区												52	52	4			7	2	6	1				
上京区																			3	1				
左京区	3	6	9	サフォーク 雑	2	4	8	12	サーネ トカラ 雑	3		56	56	4			1	1	41	7	16	2	3	2
山科区																	1	1	13	5			2	1
下京区																			13	2				
南 区																			3	1			20	1
右京区	2	1	3	サフォーク	1	1	2	3	雑	1		29	29	1			3	1	12	8				
西京区	3	2	5	雑	2	16		16	雑	2		3	3	1	3	1	2	1	3	2			14	1
伏見区	2	4	6	雑	1	3	3	6	雑	1		18	18	1			4	1	193	5				
計	10	13	23	/	6	24	13	37	/	7	0	158	158	11	3	1	18	7	287	32	16	2	39	5

(注) 1 種馬とは、繁殖を目的に飼養する雌雄馬。
 2 種馬以外とは、乗馬、競争用繁殖以外の目的で飼養する雌雄馬。

種別 行政区別	フランスガモ		がちょう		七面鳥		きじ		ほろほろ鳥		ウコッケイ		ダチョウ		うずら		イノシシ		ミニブタ		うさぎ		実験用 マウス		実験用 ラット		
	羽 数	戸 数	頭 数	戸 数	頭 数	戸 数	頭 数	戸 数	匹 数	戸 数	匹 数	戸 数															
北 区											29	2															
上京区																											
左京区			4	1			3	1			24	3	2	1	18	1	14	1	1	1	11	1	1,807	7	478	4	
山科区											14	2															
下京区																											
南 区											55	4															
右京区											240	10															
西京区	2	1	4	1	3	1					22	5							3	1	50	1					
伏見区									6	1	44	5															
計	2	1	8	2	3	1	3	1	6	1	428	31	2	1	18	1	14	1	4	2	61	2	1,807	7	478	4	

((1)の5)

飼料作物作付状況

種別 行政区別	飼料作物作付戸数			飼料作物作付面積 (a)										種目別飼料作物作付面積 (a)						放牧利用山林原野地 (ha)	(参考) 地力増進物						
														冬(秋)作			夏作				永年作	面積 (a)					
	耕種農家	畜産農家	計	田				畑	牧草地		計	うち畜産農家作付面積	イタリアンライグラス	青刈り麦類	飼料用根菜類	その他	青刈りとうもろこし	ソルガム	青刈りヒエ		その他	永年牧草	作付戸数	とうもろこし	ソルガム	クローバー	計
				転作	裏作	小計	うち借地		個人	共有																	
南区																						6		88		88	
右京区																						1		79		79	
西京区																						11		144		144	
伏見区																						5		44		44	
計																						23		355		355	

規模別飼養戸数および頭羽数

((2) の1)

種別 行政区別	規模別戸数及び頭数	牛																						総飼養戸数	総飼養頭数			
		乳用牛								肉用牛																		
		飼養規模								繁殖牛				肥育牛(肉専用種)						肥育牛(乳用種肥育牛)								
		1	10	15	20	30	40	50	戸数計	飼養規模				飼養頭数	飼養規模						飼養頭数	飼養規模				飼養頭数		
		1	5	10	20	戸数計	1	5		10	20	50	100		戸数計	1	10	20	50	200		戸数計						
頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭以上	飼養頭数	頭	頭	頭	頭以上	飼養頭数	頭	頭	頭	頭	頭	頭以上	飼養頭数	頭	頭	頭	頭	頭以上	飼養頭数			
北区	戸数			1	1			2									1										3	
	頭数			19	21			40									4										44	
左京区	戸数																								1		1	
	頭数																								2		2	
右京区	戸数	1						1									2								1		3	
	頭数	7						7									4								43		43	
伏見区	戸数																											
	頭数																											
計	戸数	1		1	1			3									3								2		7	
	頭数	7		19	21			47									8								45		100	

(注) 1 乳用牛及び肉用牛(繁殖牛)の規模別頭数には、子牛及び種雄牛は含まない。

2 同一飼養者が複数の種別の牛を飼養していることがあるため、種別戸数の和と総飼養戸数とは必ずしも一致しない。

((2)の2)

種別 行政區別	規模別戸数及び頭数	豚																総飼養戸数	総飼養頭数
		繁殖豚 (子取り用雌豚)								肥育豚									
		飼養規模							飼養頭数	飼養規模							飼養頭数		
		1～5頭	6～10頭	11～20頭	21～30頭	31～50頭	51頭以上	戸数計		20頭以下	21～50頭	51～100頭	101～500頭	501～1,000頭	1,001頭以上	戸数計			
左京区	戸数	1						1										1	
	頭数	2						2										2	
伏見区	戸数									1							1	1	
	頭数									30							30	30	
計	戸数	1						1		1							1	2	
	頭数	2						2		30							30	32	

(注) 豚の規模別頭数には、子豚及び種雄豚は含まない。

行政区別	種別	規模別戸数及び羽数	鶏													総飼養戸数	総飼養羽数
			採卵鶏							ブロイラー							
			飼養規模							飼養羽数	飼養規模				飼養羽数		
			100羽以下	101～300羽	301～1,000羽	1,001～5,000羽	5,001～10,000羽	10,001羽以上	戸数計		飼養羽数	1,000羽以下	1,001～5,000羽	5,001羽以上			
北区	戸数	4						4	/	1				1	/	4	/
	羽数	191						/	191	10				/	10	/	201
左京区	戸数	6	1	1	1			9	/	4	1			5	/	12	/
	羽数	210	150	479	2,000			/	2,839	571	1,800			/	2,371	/	5,210
南区	戸数					1		1	/						/	1	/
	羽数					5,700		/	5,700					/		/	5,700
右京区	戸数	3	1					4	/						/	4	/
	羽数	133	155					/	288					/		/	288
西京区	戸数			2				2	/	1				1	/	2	/
	羽数			900				/	900	400				/	400	/	1,300
伏見区	戸数	3			1			4	/	1				1	/	4	/
	羽数	129			2,700			/	2,829	12				/	12	/	2,841
計	戸数	16	2	3	2	1		24	/	7	1			8	/	27	/
	羽数	663	305	1,379	4,700	5,700		/	12,747	993	1,800			/	2,793	/	15,540

(注) 1 採卵鶏の規模別羽数には、育成鶏を含まない。

2 ブロイラーの規模別羽数には、特種鶏（京地どり、京赤地どり等の肉用鶏羽数）を含む。

3 同一飼養者が両種別（採卵鶏及びブロイラー）ともに飼養していることがあるため、戸数計の和と総飼養戸数とは必ずしも一致しない。

(4) 平成22年次京都市内農業産出額（畜産）

(単位 百万円)

肉用牛	乳用牛		豚	鶏	
	生乳			鶏卵	
11.2	31.2	29.6	0	46.4	32.8

農林水産省「生産農業所得統計」より推計

(5) 地域別家畜飼養状況

(平成23. 2. 1現在)

		乳牛	豚	鶏	戸数 合計	地域別 の分布 (%)
市街化 区域	戸数	1	2	8	11	33.3%
	頭数	7	44	9,452		
市街化 調整区	戸数	2	0	10	12	36.4%
	頭数	40	0	5,498		
都 市 計 画 区域外	戸数	0	0	10	10	30.3%
	頭数	0	0	2,299		
京都市 合 計	戸数	3	2	28	33	100.0%
	頭数	47	44	17,249		

2. 家畜衛生防疫

(1) 平成23年度家畜衛生防疫及び畜産環境対策指導実績

	家畜別	事業内容	頭羽数	件数	実施月														
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成24年 1月	平成24年 2月	平成24年 3月			
診療	予防接種	牛	イバラキ病	-	-														
		牛	牛伝染性鼻気管炎	14	1								○						
		牛	三種混合	-	-														
	豚	豚	豚丹毒	-	-														
		豚	流行性脳炎	-	-														
	鶏	ニューカッスル病	10,000	1								○							
	検査	牛	牛	結核病	-	-													
			牛	ブルセラ病	-	-													
			牛	肝てつ	-	-													
		豚	豚	牛サルモネラ	-	-													
			豚	豚コレラ	-	-													
			豚	豚丹毒	-	-													
			豚	オースキー病	-	-													
		鶏	豚	豚流行性下痢症	-	-													
			豚	豚トキソプラズマ	-	-													
			豚	萎縮性鼻炎	-	-													
	馬	鶏	ニューカッスル病	-	-														
		鶏	家きんサルモネラ感染症	230	4	○			○			○						○	
		鶏	呼吸器性マイコプラズマ病	-	-														
	投薬	馬	伝染性貧血	162	14	○	○		○		○		○				○	○	
みつばち		腐そ病	57	6				○	○										
	みつばち	バロア病	2	1				○											
	その他	その他患畜診療	-	-															
家畜衛生・環境対策	乳牛	衛生・環境対策指導			11	○				○			○	○			○		
	肉牛	衛生・環境対策指導			7	○	○	○		○							○		
	豚	衛生・環境対策指導			-														
	鶏	衛生・環境対策指導			190	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	馬	衛生・環境対策指導			15	○	○		○		○	○	○			○	○		

(2) 京都市内における過去5ヵ年間の監視伝染病発生状況

年度	伝染病名	家畜の 種 類	発生頭数	発見場所 (飼育場所)
19	豚丹毒	豚	36頭	南区(亀岡市) 20頭 南区(三重県) 16頭
	豚赤痢	豚	10頭	南区(三重県) 10頭
	サルモネラ症	豚	3頭	南区(南丹市) 3頭
	牛白血病	牛	1頭	南区(南丹市) 1頭
20	豚丹毒	豚	99頭	南区(亀岡市) 98頭 南区(南丹市) 1頭
	豚赤痢	豚	2頭	南区(三重県) 2頭
	牛白血病	牛	1頭	南区(長野県) 1頭
21	豚丹毒	豚	84頭	南区(亀岡市) 72頭 南区(福知山市) 6頭 南区(南丹市) 1頭 南区(大阪府) 1頭 南区(三重県) 4頭
	レプトスピラ症	犬	2頭	伏見区(京都市) 1頭 伏見区(宇治市) 1頭
	牛白血病	牛	1頭	南区(鹿児島県) 1頭
	家きんサルモネラ感染症	鶏	3羽 1羽	西京区(西京区) 3羽 左京区(左京区) 1羽
22	豚丹毒	豚	51頭	南区(亀岡市) 44頭 南区(福知山市) 6頭 南区(南丹市) 1頭
	牛白血病	牛	4頭	南区(綾部市) 1頭 南区(佐賀県) 1頭 南区(兵庫県) 1頭 南区(京丹波町) 1頭
	豚丹毒	豚	19頭	南区(亀岡市) 12頭 南区(南丹市) 4頭 南区(福知山市) 3頭
23	牛白血病	牛	1頭	南区(京丹波町) 1頭
	レプトスピラ症	犬	1頭	左京区(左京区) 1頭

(3) 家畜法定伝染病の種類 (28 疾病)

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

伝 染 性 疾 病 の 種 類	対 象 と な る 家 畜 の 種 類
牛疫	牛, 水牛 めん羊, 山羊, 豚, しか, いのしし
牛肺疫	牛, 水牛 しか
口蹄疫	牛, 水牛 めん羊, 山羊, 豚, しか, いのしし
流行性脳炎	牛, 水牛, 馬, めん羊, 山羊, 豚, しか, いのしし
狂犬病	牛, 水牛, 馬, めん羊, 山羊, 豚, しか, いのしし
水胞性口炎	牛, 水牛, 馬, 豚, しか, いのしし
リフトバレー熱	牛, 水牛, めん羊, 山羊, しか
炭疽	牛, 水牛, 馬, めん羊, 山羊, 豚, しか, いのしし
出血性敗血症	牛, 水牛 めん羊, 山羊, 豚, しか, いのしし
ブルセラ病	牛, 水牛 めん羊, 山羊, 豚, しか, いのしし
結核病	牛, 水牛 山羊, しか
ヨーネ病	牛, 水牛 めん羊, 山羊, しか
ピロプラズマ病 (注 1) (省令で定める病原体に限る)	牛, 水牛, 馬, しか
アナプラズマ病 (注 2) (省令で定める病原体に限る)	牛, 水牛 しか
伝達性海綿状脳症	牛, 水牛 めん羊, 山羊, しか
鼻疽	馬
馬伝染性貧血	馬
アフリカ馬疫	馬
小反芻獣疫	めん羊, 山羊, しか
豚コレラ	豚, いのしし
アフリカ豚コレラ	豚, いのしし
豚水胞病	豚, いのしし
家きんコレラ	鶏, あひる, うずら, 七面鳥
高病原性鳥インフルエンザ	鶏, あひる, うずら, 七面鳥, きじ, だちょう, ほろほろ鳥
低病原性鳥インフルエンザ	鶏, あひる, うずら, 七面鳥, きじ, だちょう, ほろほろ鳥
ニューカッスル病 (注 3) (病原性が高いものとして省令で定めるものに限る)	鶏, あひる, うずら, 七面鳥
家きんサルモネラ感染症 (注 4) (省令で定める病原体に限る)	鶏, あひる, うずら, 七面鳥
腐そ病	みつばち

注 1) バベシア・ビゲミナ, バベシア・ボービス, バベシア・エクイ, バベシア・カバリ, タイレリア・パルバ, タイレリア・アヌラタ

注 2) アナプラズマ・マージナレ

注 3) 1 鶏の初生ひなにおけるその病原体の ICPI (脳内摂取試験により得られた病原体の高さを表した指数をいう。) が 0.7 以上であるニューカッスル病

2 次のいずれにも該当するニューカッスル病
イ その病原体の F 蛋白質の 113 番目から 116 番目までのアミノ酸残基のうち 3 以上がアルギニン残基またはリジン残基であると推定されること

ロ その病原体の F 蛋白質の 117 番目のアミノ酸残基がフェニルアラニン残基であると推定されること。

注 4) サルモネラ・エンテリカ

(血清型がガリナルムであるものであって, 生物型がプロラムまたはガリナルムであるものに限る。)